

# 岳南会ニュース

第21号

発行

平成23年1月1日

長野県野沢北高等学校

TEL 0267 (62) 0020

岳南会

TEL・FAX 0267 (63) 6664

印刷 (株)佐久印刷所



時ならぬ大雪にみまわれた母校 (2010.4.17)  
正面の山は茂来山 (1717.8m)



揺れ続ける教育界

岳南会会長

沼田 秀人 (46回)



時代とともに

学校長

高見澤 正彦

明けましておめでとうござい  
ます。卒業後30年、50年の節目  
の皆様方をはじめ、多くの同窓  
生の皆様方から母校に温かいご  
支援を賜り、心より御礼を申し  
上げます。

現在、校門横の小体育館が耐  
震補強工事中であり、45年前に  
組まれた骨組みを改めて目に致  
す時、往時、この新体育館に響  
き渡った若者の歓声が彷彿と耳  
を突く思いがします。長い歲月

頌春

先ず、毎年の母校に対する温  
かい協力金ご支援を心から感謝  
申し上げます。

昨今の政治経済の眼に余る混  
乱、特に経済不況が教育界にも  
不安の影響を落として、生徒の進路  
にも影響を与えています。そんな  
苦境の中で、教職員が一丸と  
なって北高教育の充実強化に努  
力している姿に、安心と共に敬  
意を表しておる次第です。

私が掲げた二大案件の内、高  
校再編については一応の決着を  
みたとありますが、学有林の所有者  
名義移転について、これは昭和  
十五年、会員の拠金により取得  
し、爾来七十年経過し、名義借

に耐え、なおこの先も、活気に  
満ち、大きな夢に向かって努力  
精進する本校生の躍動の場で  
あつてほしいと静まり返った足  
場だらけの小体の隅に立ち、思  
いを馳せるものであります。

現在、大学への進学率は54%  
を超え、大学・大学院の学生総  
数は過去最高の約290万人と  
なっています。高学歴化の上昇  
とは逆に、就職内定は反比例の  
下降状況にあり、10月の大学生  
の就職内定率は57・6%と、過  
去最低を更新しています。この  
状態は、昭和30年代中頃の流行  
語である「大学は出たけれど」  
の状況よりももっと厳しさを  
増して若者に覆い被さってい  
ます。

こうした現実を高校生の今の  
うちに自分の問題として直視し、

人がおよそ八十名に達し、その  
実印等の回収が困難の極にあり  
一年半を経過した現在未解決で  
あります。今年はその実現に邁  
進努力致す考えです。

全国に散在する会員にさらに  
充実した「岳南会ニュース」を  
届け、北高の存在感を強化する  
ために一層力を注ぎたいと考え  
ています。また、一月五日の総  
会では、好評をいただいている  
記念イベントとして芸大出身の  
テノール歌手、倉石真氏のコン  
サートを企画し、盛況を期して  
います。ぜひご出席下さい。

皆様の更なるご健勝を祈念し  
て、年頭のご挨拶とさせていただきます。

対応すべく能力、技術、資格、  
発想、などを如何に蓄えていく  
かを考えることが肝心と思えま  
す。幸い、本校生は、生涯に大  
きな夢を持ち、基礎教養も社会  
性や人間関係力も育っています。  
厳しい社会を生き抜くことは勿  
論、社会のリーダーとして、日  
本の明るい将来を導き出す貴重  
な存在に成長してくれることを  
信じて疑いません。

「人生における現在の位置を  
確認し、置かれた立場や役割を  
しっかりと認識して、先を見て  
計画し、着実に行動する」幅の  
ある温かみに満ちた人間を育て  
る野沢北の教育でありたいと考  
えています。

皆様の益々のご活躍とご健勝  
をお祈り申し上げます。

空席だった副会長に井出公陽氏(51回)を選出し、その後、懸案であった学有林(岳南会所有林)名義変更手続きに入ることに、中高一貫教育研究会会長経過報告などを承認しました。

記念行事は09年日本学術振興会賞・日本学士院学術奨励賞を受賞された小泉修一氏(78回・山梨大教授)による講演『脳科学研究のオペルニクスの転回』。ニューロンの陰にかくれて今まで余り顧みられることのなかったグリア細胞に注目、ニューロンの働きを制御することなどや、慢性痛への効果などから、様々な脳疾患に役立っていくだろうという今後への展望まで、多くのデータを紹介された大変興味深い講演でした。



講演中の小泉教授

続いて行われた母校吹奏楽班の演奏は、学生歌、校歌から故郷の演奏まで、共に歌い演奏しあうことで会場は一つになり、参加者一同、懇親会でさらにヒートアップ、翌年の再会を誓いあつて幕を閉じました。総会参加者は百五十四名(受付通過者)。

### がむしやらに取り組むのがとりえ

湯本達司君(102回卒)は主将として慶応大学野球部を率い、昨春は東京六大学野球で11季ぶり32回目の優勝、秋は優勝まであと一步の準優勝と活躍、全国にその名をとどろかせた。慶応では寺尾勇一氏(74回卒)、加藤貴昭氏(89回)について野沢北出身3人目の慶応野球部主将である。現役引退・退寮準備でいそがしいなかインタビューに応じてくれた。

秋の決定戦は誕生日でもあったがそのときの心境は――(早稲田大を決定戦まで追いつめた)20年ぶりの連覇がかかっていたので、敗れてしまったのは本当に悔しかった。やはり現実にはそんなに甘いものではないです。もともと僕は慶応入学が一番の目標で、一浪してその目標を達成(商学部入学)できました。幸い野球部では2年からレギュラーとなれ、また4年生でキャプテンにまでなったわけですし、プロに進む力のある仲間たちと一緒に野球をやれたことはとても幸せなことだったと、今は強く感じています。

話題の選手がいた――(ドラフト1位指名の)3人は1年の頃からレギュラーとして投げていましたが、特別意識はしていませんでした。野球を通じて知り合ったわけですがプロに行っても活躍してほしいですね。



母校を訪れた湯本達司君(右から2人目)と在校生、左端は学校長

主将として心掛けてきたことは――自分は言葉によつて(仲間を)ガイグイ引つ張つていくようなタイプではありません。コツコツと地道に練習している姿が、皆に主将として選ばれた理由だと思います。主将になつてもその姿勢は崩さず、さらにガムシヤラに練習してきました。でも人前で弱みは見せたりしないように心掛けてきました。同じ4年生にはぜひぶん協力してもらつたし、学生スタッフにも支えてもらいました。

監督は巨人や中日で活躍した江藤省三さんでしたね――監督のことには厳しさのなかにも一つひとつ重みがありましたね。プロの厳しさを聞く度に学生の甘さを感じました。基礎基本を重視して反復練習をよく繰り返して指導されましたね。長嶋さんや王さん、原監督、中畑さんの現役時代のことが指導のなかでもよく話題になりました。



スポーツ新聞に掲載された湯本君(春季優勝時)

大学卒業後は――銀行に勤めますが野球は続きません。今まで仲間に支えられつつも、ガムシヤラにやつてきたことで結果を出すことができず、全く経験のない世界でのスタートですが、やっぱりガムシヤラにがんばつていきたい。

――在校生や同窓生にひとこと――《在校生へ》大学は自由で、自分のやりたい事とことのできる所です。もし、踏み出せずにどうしようかと悩んでいるのなら「ぜひやってみな」と言いたい。

《同窓生の皆さまへ》昨年四月以降「野沢北出身です」と面識のない多くの方々から声をかけられ、応援や激励をしていただきました。本当にうれしかったです。どうもありがとうございました。

# 支部だより

## 前山支部

### 第九学友区の歌

(大正四)

見よ立科の裾に湧く  
片貝川の帯締めて  
結べる郷も大沢の  
次に控えし前山や  
清き泉の桜井と  
共に健児の声高し

三石勝五郎 (3回卒)

「なにせ、第一回卒業の山崎  
信明先生 (明治45年から20年間  
母校教師、実家の小宮山の住職  
も兼ねる) がいたからね、明治  
の終わりには同窓会支部はでき  
ていたんだよ。ただし人数も少  
ないから、在校時の『学友会』  
(通学班みたいなもの) の仲間  
でずっとやってきた。つまり、



大沢・前山・桜井と合同だね。  
でも、わたしが卒業した昭和6  
年には前山だけで独立していた  
よ。ここからどこへ出かけるに  
も母校の前を通るから、俺達こ  
そ地元の支部だ、みたいな気も  
あってね、ずっと大事に親睦を  
深めているよ。戦後もすぐ復活  
したさ。学有林もここにあるし、  
最近では戦没者の慰霊碑も貞祥寺  
にできたしね。野球の練習場が  
前山にできた時は嬉しかった  
なあ。そういえば、甲子園へ  
いった時の寄付もまだ支部の基  
金に残ってるわい」

— 茂木儀雄氏 (26回) 談 —

今年の総会が開かれた6月22  
日は茂木さんの97才の誕生日に  
あたり、会員一同恐れ入りなが  
ら祝杯をあげました。冒頭の賛  
歌をスラスラと口にしながらか  
昔の話をしてくれました。先輩は  
わが支部の宝であります。

当日、母校より来られた同窓  
会事務局長の確井先生は、母上  
が前山小学校で教鞭をとってお  
られ背負われて何度も学校にき  
たという話に、担任だった元生  
徒は驚き、総会は大いに盛りあ  
がりました。

野沢から真つすぐ西方、「や  
まが」の支部には、ずっと母校  
を見守り続けてきた会員も多く、  
街から帰ってきたもんや、ヨメ  
にきたもんや、新しい故郷をつ  
くったもんや、と一緒にこれか  
らも楽しくやって行こうと思いま  
す。

## 山本文彦さん

※ 芸術院新会員に ※



洋画家・山本文彦さん (51  
回) は、昨年5月31日、優れた  
芸術作品を創作したり、芸術の  
進歩貢献した人へのみ贈られる  
芸術院賞を受賞されました。さ  
らにそのなかでも特に顕著な業  
績を残した者に与えられる恩賜  
賞もあわせて受賞されました。  
全国で3人だけという快挙です。  
この度、平成22年12月15日に  
はその芸術院の新会員になられ  
ました。二重の慶賀になります。  
芸術院の会員は終身で、定員百  
二十名ですが、現在は山本さん  
を含めて百十名とのことですよ。

新聞報道によりますと、「具  
象様式の油彩画を制作。近年は、  
象徴主義的な人物画を追求」さ  
れている由。  
今後の更なるご活躍を祈念い  
たします。

**東京岳南会  
第50回総会ご案内**

日時 2011年6月4日(土)  
午後2時～  
会場が変わります  
(『はーといん乃木坂』ではありません。  
ご注意ください)

会場 日本教育会館・喜山倶楽部  
東京都千代田区一ツ橋2-6-2  
Tel 03-3262-7663

第一部 (午後2時～)  
総会・三二講演会  
第二部 (午後3時～5時)  
懇親会

会費 7000円 (懇親会費・通信費など)  
2000円 (学生)  
新会員 (当年高校卒業生) はご招待

当番幹事 73回 (昭和52年卒)  
83回 (昭和62年卒)  
93回 (平成9年卒)  
103回 (平成19年卒)

連絡先 東京岳南会幹事長  
白鳥伍朗 03-3503-0058  
090-8818-5826



## 平成23年度 総会のご案内

期日 一月五日(水)  
午後一時開会

場所 佐久ランドホテル二階  
(佐久市中込二一九一八)

議事  
学有林名義変更について  
会務・会計決算・予算他  
○記念コンサート  
(一四時十五分)

(一部)  
倉石 真氏  
(テノール・84回)

(二部)  
野沢北高校吹奏楽班  
○懇親会 (二六時三十分)  
懇親会費 五〇〇〇円

## 前岳南みずゝ会会長 松村英夫先生をしのぶ



田中 英史

松村先生は昨二〇一〇年六月  
九日に急逝された。まだ七〇代  
半ばで、またそれまで大変お元  
気だっただけに、周囲にとつて  
まったくの驚きであった。  
東京農大付属高を振り出しに  
いくつかの神奈川県立高・都立  
高で教えられ、最後は都立忠生  
高校長を務められた先生は、岳  
南みずゝ会の中心的な存在たる  
にふさわしい方であった。一九  
九三年から幹事長として当時の  
会長宮澤康造先生を助けられ、  
二〇〇一年に宮澤先生を継いで  
第六代会長に就任。二〇〇八年  
退任とともに名誉会長になられ  
てからも、役員会などにもほぼ  
欠かさず出席されて、熱心に指  
導をしてくださっていた。役員  
会の会場は、東京は西武新宿駅  
向かいの、先生行きつけのさる  
料理店。そこで見せられる、酒  
好きな先生の人間的な暖かみな  
ども懐かしい思い出になってし  
まったのは残念である。  
(岳南みずゝ会は、ご存じのごと  
く、先生から会長を引き継いだ私  
の代で、昨年三月をもって解散に  
なってしまったが、それはもちろ  
ん先生にもご相談し、お認めい  
ただいた上でのごことであった。)

ペンを

スコップやハンマーに

持ち替えて

―戦後65年を迎えて―

黒澤 一夫 (40回後期)

花もつぼみの若桜

五尺の生命ひっさげて

国の大事に殉ずるは

我ら学徒の面目ぞ

ああ紅の血は燃ゆる

これは、太平洋戦争たけなわの昭和19年、木曾上松の発電所建設工事に動員された、旧制野沢中学校4年生3クラスが、晴れやらぬ朝霧の中、隊伍を組んで工事現場へ向かう道々、学生歌や軍歌に負けじと声高らかに歌った「学徒動員の歌」の一節である。

がやっつと、下を見ると目がくらみ足がすくんでしまう吊橋、しかも人が通るとサーカスのように揺れて、頼まれても高所恐怖症になって、足が出なくなってしまう。さりとて逃げて帰るわけにもいかず、みんなで考えた揚句、4〜5分間隔で渡ったかどうかと、急場凌ぎの案が出され、しぶしぶそれでやることが決まった。この時の慎重な足踏みは、後々危険防止の上からも大事な取組みであったと評価された。その上あれ程こわごわ渡った吊橋も、馴れるにつれて平気になり、



昭和電工 小海工場 学徒労働員  
昭和19年8月28日撮影 4年B組

資材を担いで駆け足で渡れるようになって、体を通して馴れの大切さを学んだ。第二の難関は、組によって土木作業の内容が異なり、これまで経験したことのない力仕事を求められることも珍しくなく、スコップで砂をトロッコに積み代える作業や、丸太や角材を担いで山道を下る厳しい作業が続き、手には豆が腕には張りがきたり、肩は赤く張れ上がって痛くて風呂にも入れぬ日も続いた。

◆学生には空腹の思いをさせないようと、その筋の配慮があったと聞いていたが、食べ盛り発育盛りの胃袋を満足させることは難しく、麦飯芋飯に加えて、週に1〜2日汁ばかりのスイトンの夕食には、不満の声が渦巻いていた。腹の足しにはならなくても、何か掴むものがあれば少しは気が紛れるだろうが、そんな中から誰が考え出したのか、豆炒りや芋干し等を近くの家に送ってもらい、夜天井裏から取り出して、フトンの中で班の仲間と分け合って食べる秘策が広がった。ところがそんな束の間の憩いも長続きしなかった。うっかり大事な物をしまい忘れたために見つかって、教官室に引き上げられ「健康保持のため罷り成らん」と、大目玉を食う羽目になってしまい、一生の不覚であった。――衣食足りて礼節を知る――にはどうすればよいのか。加えて、穴のあいた軍手をうす暗い宿舎で補修したまではよかったが、少しづつを惜しんで、作業ズボンをはいたまま破れを繕ったため、ズボン下まで縫いつけてしまったことが後で判って、周囲の失笑を買った。



# 岳南会戦没者等慰霊碑護持会だより

護持会々長 井出 公陽

母校百周年から十年、月日の流れの早さを感じますが、その時代の流れと共にともすれば忘れがちになる、あの忌まわしい大戦、母校の先輩達の多くが、日本国民の安寧と栄華を願って貴い命を捧げられました。

「未だにジャンゲルの奥深く、深海の底に眠る英霊の靈魂だけでも故郷の土に迎えたい」それが慰霊碑建立の気持ちであったと二十〜四十回卒の皆さまが中心となり賛同する同志が相倚り、貞祥寺の母校を遙かに望む八方観の台上に立派な慰霊碑が完成、平成十三年十月除幕されました。

それから毎年六月の第一日曜日（慰霊の日）として、発起人・御遺族・岳南会賛同者・慰霊碑護持会役員等、四百名からの皆様に連絡をし、慰霊碑前に祭壇を設けて岳南会長・学校長・御遺族代表の弔辞、貞祥寺御住職の読経参列者全員の焼香と厳粛な慰霊祭を行い、後の昼食会では故人の想い出を語り合い平和の貴さを実感するひとときを重ねてまいりました。



二三七柱の英霊には言い尽くしがたい想い出があり、御遺族の弔辞にはそれぞれ胸にせまり、涙を

誘う言葉が数多くございました。

頂いた弔辞の中の一節ですが、平成十九年十月、沖繩県から八十歳を越える人々が佐久市の小池勇助軍医（野中第三回卒、沖繩糸満市・陸軍野戦病院長・戦死）の墓参に参りました。

激戦を極め玉砕を余儀なくされた沖繩の野戦病院に弱冠十五・六歳で勤労働員された「積徳女学院看護隊」の方々でした。追いつめられてゆく戦況の中で「ひめゆり部隊」など集団自決が多かった状況下「お前達は非戦闘員である、死んではならない、何としても生き抜いて親元に帰りこの惨状を後世に伝えてほしい、若い命を大切にしてください」との小池隊長の解散命令で生き抜く事が出来たと感謝しておられました。

今では、母校の後輩達が修学旅行にかの地を訪れ過去を学び平和の大切さを学んでおるとのこと感動し誇りに感じたと述べておられました。

この慰霊祭も節目の年を迎え、本年からご通知を致しますが、毎年六月の第一日曜日を慰霊の日と定め、有志にて午前十一時から貞祥寺の本堂で任職による読経を頂くこととなりました。関係のみなさまにはご理解頂きお誘い合わせの上ご参集下さい。尚、昼食等用意の都合上事前に岳南会事務局宛ハガキにてご一報下されれば幸甚です。

# 卒業30周年記念事業

## および記念式典

### 74回卒

第74回卒業生（昭和53年卒業）は、平成21年8月8日佐久グランドホテルで卒業30周年同窓会を開催しました。来賓として、沼田秀人岳南会長、高見澤正彦学校長、恩師として、工藤恒良先生、高見澤俊雄先生、竹田紀男先生、藤作敏一先生、木村清志先生にご出席いただき、記念式典と母校への記念品を贈呈しました。



↑ 74回卒生式典より  
← 寄贈されたインターロッキング



だき、3月から準備をはじめました。各クラス2〜3名の実行委員も快く引き受けてもらい、4月から1回の実行委員会、記念事業の内容等を話し合い、準備を進め、当日を迎えました。出席者は98名、30年ぶりの再会、クラスの枠を超え、高校時代の話で盛り上がり時間の経つのも忘れ、2次会の出席者も予想を上回りました。

母校への記念事業（記念品）として中庭通路のインターロッキング（写真）、体育館への通路の一部舗装を完成させることが出来ました。

「お盆なら出席できた人もいる」「来年も開こう」の言葉に乗せられ、1年後（昨年の平成22年8月14日）にホテルナカジマで、同窓会を開きました。出席者は、減りましたが絆はさらに深まったと思います。

### 75回卒

平成22年8月7日（土）午後1時半より、中込「佐久グランドホテル」にて、第75回卒業生卒業30周年記念式典及び同窓会が開催されました。この記念事業は、第50回卒業生から続いており、今回で25周年を迎えまして。当日は、来賓に沼田秀人岳南会長、高見澤正彦学校長をお迎えし、恩師6名を交え、同窓



75回卒生記念祝賀会

生90余名の出席のもと、盛大な会となりました。式典の席上、岳南会長及び学校長の挨拶のあと、記念事業実行委員会より同窓生に向けて卒業30周年記念事業への賛助金御礼の挨拶と、母校へ贈呈する記念品の目録が学長に手渡されました。今年度は母校の要望に沿って、生徒用のシューズロッカー1学年分、小体育館用大型スクリーン、大型製氷器の3つの備品を贈呈しました。式典後の記念同窓会では、卒業以来30年ぶりに再会した恩師や同窓生がにこやかに歓談する姿が会場の所々に見られ、楽しいひとときになりました。同窓会の最後には、恩師一人一人から挨拶をいただきました。恩師の方々が、30余年前の学校での出来事を昨日のことのように記憶し、詳しく語ってくれたことに、一同驚くと共に懐かしさを覚えました。

（根津靖彦）

# 岳南会所有林名義変更案件 経過報告

岳南会本会においては、かねてより対応を迫られてきた所有林名義変更の対応に入った。所有林取得当初、名義借人は六人であったが、以後、六十有余年の時の経過の中で、必要な措置がなされなかったため、現在、法的に地権者となつている名義借人相続者は七十七人となつている。このまま放置したら、と考えて、一刻も早い対応をとることにした。

この件を遂行するにあたっては、当然、専門的な対応が必要なため、佐久市の細萱忠敬司法行政書士事務所に協力ををお願いした。その結果、先ず当時の名義借人六人の方々の現在の相続者七十七人の方々の確定をみた。

次に、現在の権利相続者の方々に、ある日、突然、この件への協力をお願いしても、唐突の事であり、ご理解をいただくためには、このような状況に至つた経緯の説明が必要であろうと考え、『野沢中学校・野沢北高等学校百年史』の該当する記述及び昭和四十八年に岳南会長となられた中沢陸次郎氏の話に基づいて、この間の推移が理解できるよう、法務局から登記簿本も取

り寄せ、所有林取得の発端から整理してみた。

岳南会が所有林を得たのは、昭和十五年のことであり、創立四十周年記念事業の主要アイテムとして、このために集めた募金の中から三千円の大枚を投じ、将来の学校図書館の設立を目指して、当時の大沢村奥の新田居村に三ヶ所の山林を購入している。所有者は、岳南会に法人格がなく、個人名で登録せざるを得ず、その時の旧制野沢中学校長（兼岳南会長）であつた白田紀六氏を名義人としていた。この後、購入した山林の一つが、近くの田圃の日照を防げるので、対応のため移譲を申し込んできた大沢村に譲渡され、代わりに、昭和十六年四月、前山村小宮山鎌取場に山林を得ている。この際の名義人は、これまでの名義人であつた白田紀六氏が昭和十六年三月に退職しており、後任の小町谷常是校長が、岳南会員でなかつたため、新たに取得した山林の名義は、当時の山林取得に関わつた五名の岳南会員の名前で登記された。そして、白田紀六氏の名前で登記されていた大沢村奥の山林二ヶ所は、昭和四十八年、前年に逝

去された黒澤富治郎氏の後任として、中澤陸次郎氏が岳南会長に就任するにあつて、既に昭和三十六年に逝去されていた白田紀六氏から名義変更される手続きがとられたが、前山村小宮山鎌取場の所有林については、名義借人五人の方々が、この時、お元気であつたため、名義変更の措置はなされず、今日に到つている。

なお、この間、所有林の固定資産税は、本会で支払い、本部役員と事務局職員による一年一度の視察と山林管理委員による常時の管理も行なつてきている。

このような経過を踏まえ、岳南会本会が、現在、対応しているのは、中澤元会長のご遺族及び他の名義人五人のご遺族の代表者をお願いした方々を通して、七十七名のご遺族への事情説明と、当方の依頼で行なわれる細萱事務所から送付の「遺産分割協議書」への署名捺印と「印鑑証明書」の返送であり、まさに伏してお願ひである。

この結果、総ての必要書類が整えられた暁には、新たな所有林名義人には、その時点の岳南会長をもって充てることにしている。これまでの名義変更の難点を反省して、岳南会を、民法による「権利能力なき社団法人」化すること

も検討したが、法人化に伴う必須業務に対応できないと判断したためである。

そして、昨年十月初旬から、ご遺族への「依頼文」及び関係書類の郵送が行なわれ、その後、着実に回答が寄せられているのは有難いことであるが、一部滞っている場合もあり、その後に必要な対応も目途に、佐久市の町田清法律事務所とも連絡をとつていくところである。

今のところ、このような当

方の方々の切実なる思いの対応が、ご遺族の方々のご理解とご協力により、初期の目的達成となつて結実することを、祈るような気持ちで願つている。

（文責・副会長・高見澤俊雄）

## 中高一貫教育研究委員会 経過報告

平成九年十一月に本委員会が発足してから一年が経過した。

この間、中高一貫教育について、県レベルで大きな進展があり、モデル校として、東北信地区では、屋代高校付属県立中学校が平成二十四年に、中南信地区では、諏訪清陵高校付属県立中学校が平成二十六年に、開校する予定となつた。共に、併設型で、文部科学省指定のスーパー・サイエンス・ハイスクール校でもあつた。

本委員会は、このような県内における展開に注目しながら、これまで、二・三ヶ月に一度のペースで六回の会議を開き、今年八月には、岳南会代議員会において、「中間報告」を行なつた。

これまでの会議での意見交換内容は、次の通りである。

- ・ 県教委の中高一貫教育導入検討経過と屋代高校への導入決定経過の把握。
- ・ 中高一貫教育の利点と懸念。
- ・ 野沢北高「将来構想委員会」の県外中高一貫校視察報告。
- ・ 野沢北高職員「中高一貫教育アンケート結果」報告。
- ・ 野沢北高進路結果状況検討。
- ・ 近隣私学校における教育内容と経済的負担の把握。
- ・ 佐久地区出身地別生徒数状況調査（通学状況調査）。
- ・ 今後の研究の進め方。

これからの対応は、県教委の意向把握、系統的研究の確立、母校生徒への支援と考へている。



母校近況



クラブ活動報告 (主な結果のみ)

運動班



菊池萌水さん

☆ スケート班

菊池 萌水 (3年) スケートショートトラック 女子3000m 日本新

10月16日開催の第14回長野県ショートトラックスピードスケート選手権野辺山大会優勝、記録5分4秒48 6は日本新記録。

☆ 野球班 第92回高校野球長野大会 ベスト16

ベスト8入りの対松本工業戦1-3で惜敗、対戦校は甲子園出場

☆ 女子バスケット班

県大会ベスト4 (新人選抜優勝大会出場予定)

主力平均身長1m56と小柄ながら、強豪佐久長聖等を破り、25年ぶり東信大会優勝

☆ 陸上班

春季 箕輪雄太 走幅跳、三段跳 北信越出場 (県大会 5位、4位)

清水 駿 三段跳 北信越出場 (県大会 5位)

秋季 渡辺慎吾 ハンマー 北信越出場 (県大会 3位)

☆ 卓球女子

春季 丸山彩貴 シングル 北信越出場 (県大会 7位)

☆ 水泳

春季 磯田秀馬 200m 磯田秀馬 100m 北信越出場

☆ 文化班

将棋 田中志保 全国大会 春季 出場 (県大会個人準優勝)

質奏 女子団体 県大会優勝

平成22年 会務報告 (岳南会総会H22.1.5以降、事務局把握分・抜粋)

- 1/5 岳南会総会 154名(懇親会136名)、記念講演 小泉修一氏《78》「脳科学研究のコペルニクスの転回」
1/23 中込支部総会(支部長 木内博一氏)(会長、学校長、事務局出席)
2/2 第3回中高一貫教育研究委員会
2/20 白田支部総会(支部長 井出 亮氏 油井英次氏退任)(高見澤副会長、井出公陽副会長、事務局出席)
2/21 南牧支部総会(支部長 井出雅庸氏、津金謙太氏退任)(事務局出席)
3/14 小海支部総会(支部長 土橋治郎氏 羽毛田湊人氏退任)(会長、事務局 出席)
4/11 関西岳南会総会(支部長 関口哲生氏)(関西鈴蘭会《野沢南高同窓会》と共同開催、野沢南高事務局出席)
4/23 佐久町支部総会(支部長 友野政幸氏)(事務局 出席)
4/27 第4回中高一貫教育研究委員会
5/29 御代田支部総会(事務局出席)
6/5 東京岳南会総会(東京岳南会長 岩間辰志氏、会長、学校長、事務局出席)
6/6 戦没者慰霊の会(護持会会長 井出公陽氏、会長、学校長、高見澤副会長、小宮山副会長出席)
6/19 小諸支部総会(会長・学校長・事務局出席) 桜井支部総会(同窓生教員出席)
6/22 前山支部総会(事務局確井出席)
6/27 岸野支部総会(同窓生教員出席)
7/6 岳南会所有林視察及び山林作業。会長・高見沢・井出・小宮山各副会長・花岡教頭 井出事務長・事務局 4名参加
7/27 第5回中高一貫教育研究委員会
8/28 第2回代議員会
10/8 第1回役員改選選考委員会
第6回中高一貫教育研究委員会
11/13 東支部総会(事務局出席)
11/27 野沢支部代表者会(事務局出席)
卒業50周年記念岳南三五六会
12/3 第2回役員改選選考委員会 岳南会会計監査実施
12/17 第3回三役会開催
12/22 岳南会ニュース第21号発送(協力金依頼)

平成23年 会務計画(案)

- 1. 総会 (平成23年1月5日(水))
2. 支部総会
3. 代議員会 (1月5日、8月27日)
4. 役員会 (3回…6月、8月、12月)
5. 岳南会ニュース第22号発行、協力金依頼 (12月下旬)
6. 岳南会所有林視察 (6月)
7. 会計監査 (12月初旬)

平成22年 岳南会会計決算書

平成21.12.1~22.11.30

収入総額 12,331,968円 支出総額 5,424,182円 差引残高 6,907,786円

【収入の部】

Table with 3 columns: 項目 (Item), 収入決算 (Income Settlement), 備考 (Remarks). Rows include 繰越金 (6,473,384), 入会金 (1,464,000), 卒業生終身会費 (1,200,000), 総会会費 (575,000), 代議員会等会費 (0), 岳南会館維持管理費 (579,000), 岳南会活動協力金 (1,956,960), 雑収入 (83,624), 合計 (12,331,968).

【支出の部】

Table with 3 columns: 項目 (Item), 支出決算 (Expense Settlement), 備考 (Remarks). Rows include 会報発行費 (1,494,372), 総会費 (957,422), 会議費 (242,944), 支部会議費 (352,740), 慶弔費 (465,305), 財産管理費 (115,800), クラブ等後援費 (338,100), 進路指導補助費 (200,000), 岳南塾補助 (500,000), 会館維持費 (694,298), 事務費 (63,201), 予備費 (0), 合計 (5,424,182).

以上、相違ありません。平成22年12月3日 会計監査 竹内健 (印) 白田善和 (印) 白井正幸 (印)

紙面の都合で、平成23年岳南会会計予算案は割愛させていただきました。

進路指導室から

平成二十二年三月の、大学等の合格者数は表の通りです。

センター試験は2年続きで難化し、特に理系志望者にとって厳しい結果でした。卒業生の進路は国立大学進学、私立大学進学、浪人がそれぞれ三分の一というが大まかな状況です。

◎大学入試の状況  
少子化の進行に伴い、大学の

生き残りをかけた受験生・入学の奪い合いが生まれています。

一方、大学進学率（特に女子）の上昇と長引く不況の影響で医療看護系や教員養成系、理工系の人気は高く、国立大学や上位私立大学の入試競争も厳しいものがあります。

◎高い志を持って  
卒業後の進路や将来を考えたとき、興味を持つ事柄は何かを自覚することが大切なことと考え、読書指導や、課題研究、あ

るいはコミュニケーション能力を高めるためのディベート等に取り組んで来ました。その中から大きな夢や高い志を持ち、日々の学習や生活に取り組みよう指導をしています。

同窓生の皆様の、母校への温かいご理解とご援助に感謝を致すと共に、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

進路指導係 小林文門



強歩大会風景

事務局だより

・昨年はアジア太平洋戦争が終わって六十五年という節目の年でした。当時母校に在学されていた、軍事教練や勤労動員に明けくれた上、一年繰り上げ卒業を強いられた、四十回後期の先輩から寄稿していただきました。こんな体験が二度と繰り返されないよう、平和を守る行動を続けていきたいものです。

・大先輩・山本文彦さんの芸術院新会員の報、若手では慶応野球部主将・湯本達司君の活躍もうれしいことでした。うれしいことといえば、昨年の参議院選挙では十四年ぶりに本校出身の国会議員・田村智子さん（80回）の誕生もありました。

・皆様の暖かいお志、岳南会活動協力金（以下「協力金」）は、毎年本会を強力に支えてあります。「協力金」は任意であります。母校の発展、後輩育成の手助けにも有効に使わせていただいております（七ページ）。今後とも変わらぬご支援をお願いします。

大学合格状況 (2010.5.1 現在)

卒業生数	国立大学	私立大学	外国大学	大学計	国公立短大	私立短大	短大計	各種/専修	総計
240	83	240	1	324	8	0	8	9	341
浪	31	129	0	160	3	0	3	2	165
計	114	369	1	484	11	0	11	11	506

国立大学合格者数

大学名	現	浪	計
北海道	1	1	2
宮城教育	1	0	1
東北北	3	0	3
山形	2	3	5
茨城	4	1	5
筑波	4	0	4
群馬	4	0	4
埼玉	5	1	6
千葉	1	1	2
電気通信	2	0	2
東京学芸	3	0	3
東京工業	1	1	2
一橋	2	0	2
横浜国立	1	1	2
上越教育	1	0	1
新潟	3	0	3
富山	3	1	4
金沢	5	0	5
山梨	2	1	3
信州	17	9	26
(人文)	4	1	5
(教育)	4	3	7
(経済)	1	0	1
(医)	1	0	1
(工)	7	2	9
静岡	1	0	1
名古屋	1	0	1
名古屋工業	1	0	1
大阪	1	0	1
奈良女子	1	0	1
愛媛	1	0	1
大分	1	0	1

公立大学/準大学合格者数

大学名	現	浪	計
群馬県立女子	2	0	2
高崎経済	4	0	4
前橋工科	2	0	2
横浜市立	2	1	3
新潟県立	1	0	1
都留文科	3	1	4
山梨県立	3	1	4
長野県看護	2	0	2
静岡県立	1	0	1
長崎県立	1	0	1
防衛	2	0	2

国公立短大合格者数

大学名	現	浪	計
川崎市立看護短期大学	2	0	2
長野県短期大学	1	3	4
静岡県立大学短期学部	5	0	5

主な私立大学合格者数

大学名	現	浪	計
中央	9	7	16
早稲田	5	9	14
日本	6	7	13
法政	7	6	13
明治	6	6	12
立教	10	2	12
青山学院	8	3	11
神奈川	8	2	10
芝浦工業	7	3	10
明治学院	7	3	10
東洋	7	2	9
専修	6	3	9
駒澤	6	3	9
東海	7	1	8
国際医療福祉	7	1	8
慶応義塾	1	7	8
杏林	5	3	8
大東文化	6	2	8
立命館	5	2	7
玉川	7	0	7
武蔵野	6	1	7
國學院	1	5	6
帝京	6	0	6
大妻女子	4	2	6
東京理	1	4	5
北里	5	0	5
文教	3	1	4
関東学院	4	0	4
佐久	4	0	4
東京女子	4	0	4
明治薬	2	2	4
近畿	3	1	4
立正	4	0	4
新潟医療福祉	3	0	3
成城	1	2	3
成蹊	1	2	3
拓殖	3	0	3
中京	1	2	3
東京経済	3	0	3
東京薬	3	0	3
明星	3	0	3
獨協	1	2	3
高崎健康福祉	2	0	2
桜美林	1	1	2
東京農業	2	0	2
東京電機	1	1	2
同志社	1	1	2
学習院	2	0	2
関西学院	1	1	2
千葉	2	0	2
共立女子	1	1	2

大学名	現	浪	計
帝京科学	2	0	2
東京都市(武蔵工業)	1	1	2
城西	1	1	2
京都産業	2	0	2
日本福祉	2	0	2
東京家政	2	0	2
清泉女学院	1	1	2
関西	1	1	2
東京医療保健	2	0	2
東京福祉	2	0	2
倉敷芸術科学	2	0	2
相模女子	2	0	2
日本女子	1	1	2
千葉工業	1	1	2
金沢工業	1	1	2
工学	1	1	2
目白	1	1	2
上智	1	1	2
東北薬	1	1	2
星薬科	1	1	2
獨協医科	1	1	2
群馬バース	1	1	2
津田塾	1	1	2
国士館	1	1	2
昭和女子	1	1	2
東京家政学院	1	1	2
諏訪東京理科	1	1	2
昭和薬科	1	1	2
日本医療科学	1	1	2
金沢医科	1	1	2
新潟薬科	1	1	2
京都薬科	1	1	2
秀明	1	1	2
東京工科	1	1	2
聖徳	1	1	2
鎌倉女子	1	1	2
藤田保健衛生	1	1	2
京都文教	1	1	2
国際武道	1	1	2
東京医科	1	1	2
愛知医科	1	1	2
金沢星陵	1	1	2
女子美術	1	1	2
びわこ成蹊スポーツ	1	1	2
多摩美術	1	1	2
日本保健医療	1	1	2
文化女子	1	1	2
外国大合格者数	1	0	1
外国大合格者数	1	0	1
専門学合格者数	1	0	1
医療系	5	1	6
その他	4	1	5

56万円寄贈  
昨年11月27日、56回卒の皆様による卒業50周年記念式典が盛大に行われました。そして卒業回数にあわせて56万円を母校に寄贈していただきました。ありがとうございます。